

令和4年度 森林環境譲与税の使途について（十津川村）

【令和4年度 森林環境譲与税額】

132,600,000円

【使途事業一覧】

事業名	事業総額（円）			事業内容		
	うち当該年度の森林環境譲与税（円）	うち基金取崩額（円）	うち他の財源（円）	概要	実績	
森林経営管理法業務委託	6,367,900	6,367,900	0	0	森林経営管理法に基づき優先して整備が必要な森林の区域を設定し、森林境界明確化を実施	境界明確化実施面積：60.71ha
会計年度任用職員の雇用	2,554,821	2,554,821	0	0	経営管理権集積計画の作成等に係る森林の所有者調査等を行うため、会計年度任用職員を雇用	雇用人数：1名
通信運搬費（切手代）	12,340	12,340	0	0	上欄に掲げる調査業務の実施に必要な切手代	
基幹作業道開設（上湯川迫西川線）	98,649,300	98,649,300	0	0	路網が整備されていない地域に基幹的な作業道を開設	作業道開設延長：1,140m（内612mはR5年度に繰越し）※1
作業道整備促進事業補助金	3,551,000	3,551,000	0	0	作業道の開設費用を助成	作業道開設延長：2,315m
森林境界明確化支援事業	2,849,000	2,849,000	0	0	森林所有者等が行う森林境界明確化活動に対し助成するとともに、当該活動成果を測量	境界明確化実施延長：17,779m（44ha相当）
森林づくり審議会	1,748,280	1,748,280	0	0	村の目指すべき森林の方向性や施業ガイドラインについて検討する審議会を開催	審議会開催回数：2回
集落環境等保全整備事業補助金	2,815,000	2,815,000	0	0	住家等に危険を及ぼす恐れのある立木竹の伐倒・搬出及び集落周辺の山林内における歩道整備に対し助成	実施箇所：27箇所
木の玉プール購入	2,695,000	2,695,000	0	0	村産材を活用した木の玉プールを購入し、村内保育所等に設置	購入数：5セット（10,000球）
西熊野街道ボランティア活動資材費	57,000	57,000	0	0	民間団体が山林における歩道整備活動を行うための資材費を負担	案内看板設置：15箇所
森林環境教育体験学習事業	54,856	54,856	0	0	村内の小学生（5年生）を対象とした間伐体験、まき割り体験、木材加工体験等の森林教育を実施	体験学習参加者：13人
森林環境基金積立金	11,245,503	11,245,503	0	0	次年度以降に実施予定の市町村森林経営管理事業費等に充てるため、執行残額等を積立て	
合計	132,600,000	132,600,000	0	0		

※1 事業費・事業実績については現時点における見込みを記載。

【税導入の効果】

十津川村では、素材生産量の増大・安定化を図るため、森林環境譲与税を活用し、森林所有者等が行う境界明確化に対する補助や基幹的な作業道の開設事業等に取り組んでいる。

これにより、令和4年度においては、村内全体で約104haの森林の境界が明確となり、今後の森林整備の活発化が期待できる。

また、通常の森林作業道に比べて災害に強いほか、大型機械等の通行が可能な幅員を誇る基幹作業道（上湯川迫西川線）について、令和4年度においては、計画区間の両側から開設工事を行い、528mの開設延長となった。今後も計画に則った早期の開設を目指していく。

このほか、土砂災害の防止等の森林の持つ多面的機能が十分発揮されるよう、村の目指すべき森林の方向性や森林づくりガイドラインについて検討する審議会の開催、住家周辺等の危険木処理への助成、木材利用の普及啓発を図るための取組として、村内保育所等への村産材を活用した木の玉プールの設置、小学生を対象とした森林環境教育体験学習事業等を実施した。